

「いきいき福祉 ふれあいのつどい」(地域懇談会)での意見

① 開催概要

開催年度	平成 17 年度～平成 21 年度	
開催学区数	17 学区	19 年度開催の西小倉地区社協は北・西・南小倉小の 3 小学校区を包括するため、同年度は 5 学区として計算
合計開催回数	39 回	
平均開催回数	7.8 回／年	1 学区あたり 2.29 回
延参加者数	848 人	
平均参加者数	21.7 人／回	

② これまでの地域懇談会で出された主な意見

公共施設等ハードに関する意見
<p><良いところ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緑が多く、環境がよい。 <p><悪いところ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市街地から離れているため、買い物や市役所へ行きづらい。(地域に巡回バスを走らせてほしい) ・ 地域の集会所が狭く、サロンをするにしても活動がしづらい。 ・ 地域にたくさんの人が気軽に集まれる公共施設がほしい。 ・ 歩道が凸凹で、高齢者や障害者が通行しづらい。 ・ 子どもや高齢者が集える公園がほしい。

地域での生活について
<p><良いところ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい住宅がたくさんでき、子どもが増えたのでにぎやかになった。 ・ あいさつを続けていると、登下校時に子どもがあいさつするようになった。 ・ 今の地域で、死ぬまで住み続けたい。 ・ 町内会の行事に大勢の人が参加する。 ・ 地藏盆等の町内親睦会があるときは、出来る限り出席するようにしている。 ・ 子育て世代が地域へ参加できていないが、できることをできる時間に協力したい。(見守り隊には感謝している) <p><悪いところ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新興住宅地やマンションとの関わりが少なく、付き合いが難しい。 ・ 地域の色々な行事にもっと若い世代の人が参加してほしい。 ・ 高齢者がいつでも集える場がほしい。 ・ 町内会・自治会への加入者が減っており、脱会する人も増えているので、役員のなり手も減っている。 ・ 町内会・自治会で気軽に参加できるイベントが少なくなった。(盆踊り等) ・ 回覧板や寄付を手渡ししなくなった。(町内会のコミュニティの希薄化) ・ 個人情報の保護が大きな壁になり町内会名簿や町内地図も作れない。 ・ 子どもの数が減ってきており、子ども会の活動自体が困難。 ・ 災害時にスムーズに避難ができるかどうか心配。(名簿の作成)

地域での福祉活動について

<良いところ>

- ・ 地域懇談会の開催により各種団体の活動内容を知ることができ、意義深い。
- ・ 民生委員と学区福祉委員の連携がうまくとれている。
- ・ 懇談会の取組みを町内会・自治会単位でやってみたい。
- ・ 高齢者を支えるだけでなく、高齢者が地域を支えている。

<悪いところ>

- ・ 地域にある各種団体・町内会・自治会とのつながり、連携が少ない。
- ・ 個人情報の保護が大きな壁になり、活動がスムーズにできない。
- ・ 様々な集まりがあるが、どこに行っても顔ぶれは同じ。
- ・ 団塊の世代の方を地域の福祉活動に巻き込んでいきたい。
- ・ 行政から福祉活動への補助が少ない。